

組合活動を通じて、二輪車の魅力を発信

山梨県オートバイ事業協同組合 理事長 吉田 雄介氏
(有)カワサキショップ山梨 代表取締役



業界は、コロナ禍での「3密」や「ソーシャルディスタンス」が追い風となり、密を回避する移動手段として二輪車需要が堅調に推移しています。その反面、コロナ禍により海外製造の二輪車部品の輸入が滞り、新車の生産に遅れが生じています。

現在のコロナ禍で一時的に二輪車ユーザーが増えています。この流れをこれからも継続させるために、二輪車の「危険な乗り物」というイメージを変える取り組みが必要です。組合では、警察や行政とタイアップして道の駅などの施設で交通安全啓蒙活動を行い、二輪車事故を減らし安全な二輪車ライフを満喫してもらえるように努めてきました。業界のイメージアップを通じて二輪車ユーザーのすそ野を広げ、たくさんの人に二輪車に対する理解を深めてもらうために、こうした地道な活動が重要だと感じています。

また、組合の研修会では業界全体の底上げを図る上で情報発信が重要だと考え、Twit

terなどのSNSを活用した情報発信手法をテーマに開催しました。二輪販売店の情報発信は、単に顧客とのコミュニティの形成だけでなく潜在需要の掘り起こしや業界や販売店の認知度向上にもつながります。研修会は組合員の知見を深めるだけでなく、業界が抱える課題等を組合員同士が共有し解決に向けて連携を図るきっかけになることにも意義があります。

現在、組合ではETCやバッテリーなど二輪車用品の共同購買を行い収入基盤を支えています。それに加えて、組合の重要な役割として、安全啓蒙などの社会貢献活動や二輪車を楽しむ環境整備による二輪ファンの獲得だと考えています。

組合は今年で10年の節目を迎えました。組合を設立したきっかけは「二輪車業界の置かれている環境を変えていきたい」という思いからでした。これからも組合活動を通じて二輪車の魅力を伝え、二輪業界が発展していけるように組合員一丸となって活動していきます。